

## ブドウを加害するコナカイガラムシ類の適期防除に向けて

ブドウを加害する主なコナカイガラムシ類の防除時期を、性フェロモントラップで予測する技術の開発に取り組んでいます。

島根県でブドウを加害する主要なコナカイガラムシ類は、フジコナカイガラムシ、クワコナカイガラムシとマツモトコナカイガラムシの3種（写真1）で、いずれの種も成虫の体長が数mm程度と小さく、発生初期に見つけることは困難です。

島根県のブドウ生産はハウス栽培が主流で、温度管理がほ場毎で異なり、コナカイガラムシ類の発生時期（防除時期）も違うことから、現状では、ブドウの生育段階に合わせて防除時期を決めています。このため、コナカイガラムシ類の生態の違いやブドウ品種・作型による違いもあり、各々の防除時期を判断し難い状況にあります。

近年、これら3種の性フェロモン（雌が放出して雄を誘引する物質）が明らかとなりました。そこで、性フェロモンを用いて、3種の雄成虫（写真2）の発生状況を把握することで、的確な防除時期を判定する方法の開発に取り組んでいます。



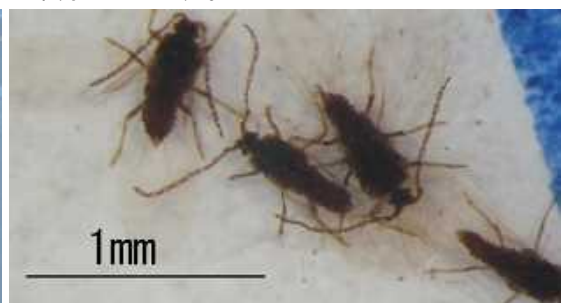
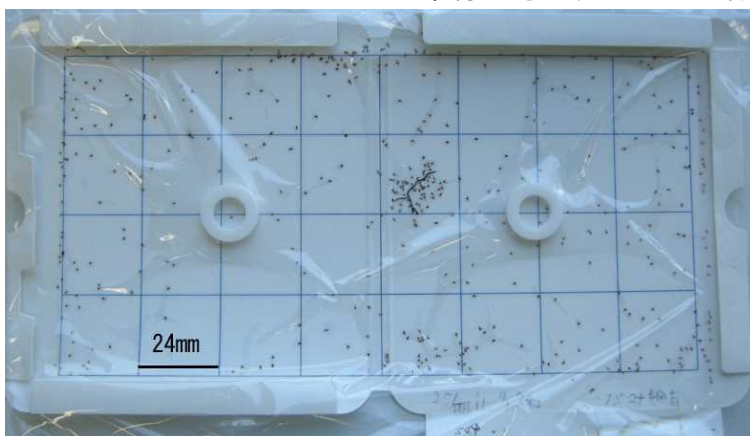
A フジコナカイガラムシ  
雌成虫

B クワコナカイガラムシ  
雌成虫

C マツモトコナカイガラムシ  
雌成虫

### 写真1 ブドウに寄生する3種のコナカイガラムシ類

※コナカイガラムシ類による被害は、ブドウ果房内への寄生による果房の汚れ、ウイルス病の媒介などです。



### 写真2 トラップに誘引されたコナカイガラムシ雄成虫(左)とその拡大写真(右)

問い合わせ先: 資源環境研究部 病虫グループ(担当: 奈良井祐隆・澤村信生)

TEL 0853-22-6772

E\_mail: nougi@pref.shimane.lg.jp